

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月20日	2022年1月7日 (金)必着	郵送	帯広畜産大学原虫病 研究センター 2022年度 原虫病制 庄に向けた国際的共 同研究拠点 共同研究、研究集会 及び施設利用・技術 移転研修 公募	提出先: 〒080-8555 北海道帯広市稲田町 西2線11番地 帯広畜産大学 研究支援課共同利 用・共同研究拠点係 電話 0155-49-5346 メール shien@obihiro.ac.jp	1. 共同研究…募集テーマは公募要項をご 参照ください。 2. 研究集会 3. 施設の利用・技術移転研修	《1.2》 国内外の大学教員、その他研究機関に 所属する研究者、これらと同等の研究 能力を有する と認める者で原虫病に関する研究およ び関連領域の研究に従事している者。 《3》 国内の大学、研究機関に所属するポス ドク又は大学院生で、原虫病に関する 研究、および 関連領域の研究に従事している者。	《1.2》上限50万円 《3》旅費、滞在 費、必要な消耗品 費等をセンターで 負担	《1.2》採択日 (2022年4月1日 以降)から1~3 年。 《3》採択日から 2023年3月31 日までの期間の うち約1週間。
12月20日	2022年1月14日 (金)17時(必着)	メール	2022年度 京都大学 医生物学研究所 「ウイルス・幹細胞シ ステム医生物学共同 研究拠点」 共同研究課題募集	提出先: 京都大学ウイルス・再生医科学研 究所総務掛 〒606-8507 京都市左京区聖護院 川原町 53 TEL 075-751-3802 FAX 075-751- 4646 E-mail 330kvoten@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp	当研究所の3つの研究部門と附属研究施 設に所属する常勤教員との共同研究とし て、下記 3テーマについて共同利用・共同研究課題 を公募します。 ①ウイルス感染研究 ②幹細胞・組織再生研究 ③生命システム研究 また、当研究所では国内共同研究と同様に 国際共同研究を推進しています。本研究所 の研究分野の詳細につきましては、以下のペー ジをご覧ください。 https://www.infront.kyoto- u.ac.jp/research/	2022年4月1日の時点で、国内外の大学・研究機関の研究者またはこれに相当する方。 申請者以外の研究者として、大学院生、学部学生を含めることができます。	上限100万円/課 題	2022年4月1日 ~2023年3月31日 (1年間)
12月20日	2022年3月1日(消 印有効)	郵送	2022年度 ニッセイ 財団 児童・少年の健 全育成 実践的研究助成募集	〒541-0042 大阪市中央区今橋 3- 1-7 日本生命今橋ビル 4F 日本生命財団 児童少年の健全育 成(研究助成)事務局 TEL: 06-6204-4013 FAX:06- 6204-0120 メール jidou-kenkyu@nihonseimei- zaidan.or.jp ホームページ: http://www.nihonseimei- zaidan.or.jp	※2年助成と1年助成の募集を行います。 【重点募集分野】 第1分野:健全育成のための教育、周到的な準備を図る分野(教育、予防的対処等を図る分野) 第2分野:健全育成にとって喫緊の対応を要する分野(療育的対処等を要する分野)を図る分野	研究者、または実践家(研究者であり実践家である者を含む) 2021年度助成研究一覧はこちらに掲載しています ⇒ http://www.nihonseimei- zaidan.or.jp/jidou2/03.html	【2年助成】 最大400万円/件 (1年最大200万円) 【1年助成】 最大100万円/件	【2年助成】 2022年8月より2 年間 【1年助成】 2022年8月より1 年間

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
- ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
- ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月20日	2022年1月31日	メール	2022年度(前期) 東京農業大学生物資源ゲノム解析センター「生物資源ゲノム解析拠点」共同研究公募	東京農業大学 生物資源ゲノム解析センター 事務担当 E-mail: kyoten-g@nodai.ac.jp 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 TEL 03-5477-2719, FAX 03-5477-2377	(今期から2区分を設定しました。どちらも次世代シーケンサー活かして農学分野を中心とする課題とします。) 一般課題： 次世代シーケンサーの実績有無は問いませんが、自身の研究を進展させ、成果に結びつくことが期待される研究。 挑戦的課題： 新奇アイデア課題枠(特に若手研究者を優先)として、過去の研究実績に囚われず、新しいテーマに挑戦する課題を対象とします。	申請をおこなう研究代表者は、国公立大学、公的研究機関および民間企業等に所属し、当該分野の研究に従事する教員・研究者とします。 また、学振PD研究員、科研費等で雇用された博士研究員も研究代表者として申請することは可能ですが、採択通知後に所属研究室の代表者(学振PD研究員の場合は受入研究者)の承諾書を別途ご提出していただく必要があります。 なお、大学院生・大学学部生が研究代表者として申請することはできませんが、研究メンバーとして参加することは可能です。		2022年4月1日～ 2022年10月31日 (予定)
12月20日	2022年1月17日(必着)	郵送	2022年度フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト賞の候補者募集	提出先: 〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館内 ドイツ学術交流会東京事務所 TEL (03)3582-5962 FAX (03)3582-5554 E-Mail: daad-tokyo@daad.jp	日本とドイツ連邦共和国における文化および社会のよりよい相互理解に特別に貢献し、学問上すぐれた業績をあげている日本人研究者	・原則として50歳未満が望ましく、ドイツ語知識のある方。 ・推薦の時点において5年以上前から生活と仕事の主な拠点を日本にしていること、かつ、受賞時にドイツにおいて無期雇用契約を結んでいないこと。	賞金:5万ユーロ。 ドイツ連邦共和国における1年間の研究滞在に招待される。 滞在は数回に分けて行くこともできます。 その際の往復旅費は1回のみ賞金とは別途に支給される。	
12月20日	2022年1月24日	Web申請	朝日新聞社 大学SDGs ACTION! AWARDS 2022の募集	朝日新聞社 大学SDGs ACTION! AWARDS事務局 (お問い合わせ窓口:株式会社クレアン) sdgsaction@cre-en.jp	(HPより) 若い世代の世界を変える力を大募集! 2030年までの達成を目指している世界共通の目標、SDGs(持続可能な開発目標)。この実現に欠かせないのが、次代を担う若者たちの力です。そこで朝日新聞社では、若い世代の活動を後押しするため「大学SDGs ACTION! AWARDS」を5年前に創設。日頃の研究や活動に基づいた、独創的な企画やアイデアが、これまでに多数寄せられてきました。さあ、次はあなたの番。SDGsの視点で、社会のこれからを考えてみませんか?	●学生(大学学部生、大学院生、高専学生、短大生、専門学校生) ●若手研究者(35歳以下) ●ゼミナール、学生NGO、学生NPO、学生団体、サークルなど 団体も応募可能	・グランプリ 50万円 ・準グランプリ[企業賞]30万円 ※特別協賛社複数社予定 ・オーディエンス賞 20万円 ほか	

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月20日	2022年1月11日 (火)~2022年2月28日 (金)17時	Web申請	2022年度 学術研究 奨励金の公募【自然 科学部門】	公益財団法人 三島海雲記念財団 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-6-10 ジ ラッパビル TEL:03-5422-9898 FAX:03- 5422-9733 E-mail:mishimak15@mishima- kaiun.or.jp	自然科学部門: 食の科学に関する学術研究 上記「食の科学」に関する学術とは、食品 素材、製造・加工・調理、発酵・微生物利 用、栄養・嗜好・生理機能、食の安全、疾病 予防などに係る研究を対象とする。 ※別途【人文科学部門】の募集あり。助成 額の総額は両部門の合計となります。	3. 応募資格 (A) 個人研究奨励金 ①日本在住の研究者(国籍は問いませ ず)、及び海外在住の日本人研究者 ②大学院博士課程(後期)在籍者(及び それに相当する大学院生) (B) 共同研究奨励金 ①共同研究の代表研究者とします。 代表研究者は、複数の研究機関又は異 なる部局の研究者が、共通の課題につ いて、共同して行 う研究組織を代表し、計画の推進、取り まとめ等に責任をもって遂行できるもの とします。 ②代表研究者は国内の大学、研究機関 に所属することとします。共同研究者は 国籍、所属研究機関 の所在地(海外も可)を問いません。 ③共同研究者の1名は、代表研究者と 異なる外部研究機関あるいは部局に所 属していることを必 要とします。 ④また、原則、分担研究費が100万円以 上の共同研究者が一人以上加わるこ とを必要とします。	(A) 個人研究奨励 金 100万円/件 両部 門合計 70件程度 (総額 7,000万円 程度) (B) 共同研究奨 励金 200万円~500万 円/件 両部門計 4~5件程度(総 額 2,000万円程 度)	原則1年間 (2022年7月~ 2023年6月)
12月20日	2022年1月17日	メール	公益財団法人 高梨 学術奨励基金 令和4年度 若手研究 助成 公募	公益財団法人 高梨学術奨励基金 申請・問合せ先(E-mailにて、問合 せ願います。) 〒108-0023 東京都港区芝浦 2-14-4 オアゼネクス芝浦 2F 公益財団法人高梨学術奨励基金 事務局 E-mail:p.f.takanashi@marujin.co.jp TEL:03(5444)8432 FAX:03(6453)7131	(1) 歴史学(考古学、文献史学<絵巻等の 視覚史料を含む>、及び美術史)とそれ に関連する分野の調査研究 文献史学は、日本を中心とした調査研究を 主な対象とします。又、美術史にあつては、 日本を含む東洋の 陶磁 工芸、絵画、彫刻、書跡などの調査研究を 主な対象としますが、日本の伝統工芸史分 野の調査研究も対象として 考慮します。 (2) 文明興亡史の調査研究 世界諸文明につき、興亡の展開を探究した 上で、それを基に現代社会の将来展望を 考察する調査研究を対象とします。	(1) 令和4年4月1日現在満39歳以下の 日本国籍を有する者。 (2) 過去に当財団の助成(若手研究、特 定研究、刊行助成)を受けている者は、 対象の調査研究が終了し、成 果報告並びに会計報告が期限までに提 出されていること。	100万円/件 (総額2,300万円を 予定)	令和4年4月1日 ~令和5年3月31 日(1年間)
12月20日	2022年1月31日	Web申請	JST-NBDC ライフサイエンスデー タベース統合推進事 業(統合化推進プロ グラム)の公募	国立研究開発法人科学技術振興 機構バイオサイエンスデー タベース(JST-NBDC) 公募担当 e-mail:nbdc-funding@jst.go.jp ※応募に当たっては、公募要領、 研究開発提案書様式等をよくご確 認ください。 研究開発提案の応募は、必ずe- Rad(http://www.e-rad.go.jp/)か ら行ってください。 募集説明会 以下のとおり、オンラインによる募 集説明会を開催します。 日時:2021年12月22日(水)13:30 ~14:30 形式:Zoomによるウェブ開催	支援対象とするデータベース、対象外の研 究開発については、公募要領の「2.1 募集 対象」等をご参照ください。	a. 研究代表者となる研究開発提案者自 らが、国内の研究機関に所属して当該 研究機関で研 究開発を実施する体制が取れること(研 究代表者の国籍は問いません)。 b. 本プログラムによる研究開発の支援 期間を通じ、研究チームの責任者として 研究開発課題全体の責務を負うことが できる研究者であること(詳細は「3.6 研 究代表者及び研究分担者の責務」参 照)。 c. 所属研究機関において研究倫理教育 に関するプログラムを予め修了している こと。又は、 JST が提供する教育プログラムを応募 締切までに修了していること	3,500万円以内/年 度	2022年4月から5 年以内

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月20日	2022年1年31日 18時	Web申請	【リバネス研究費】 第55回リバネス研究 費 マイキャン・テクノ ロジーズ賞	【リバネス研究費】 https://r.lne.st/grant/	ウイルス感染症研究や、免疫細胞を使った 機能性評価に関わる研究 血球系培養細胞を用いた研究の応用展開 を広げてくれる研究を募集します。「既存細 胞株でのウイルス分離に課題を抱えてい る」「特定成分の免疫賦活化作用や炎症作 用などの機能性評価に免疫細胞の使用を 検討している」といった研究者からの申請を お待ちしております。	・大学・研究機関に所属する40歳以下の 研究者 ・海外に留学中の方でも申請可能 ・研究室に所属して研究を始めていれ ば、学部生からでも申請可能	研究費30万円+ 研究用細胞の提 供	採択から1年間
12月20日	2022年1月14日	メール	「環境調和型で持続 発展可能な省エネル ギー・創エネルギー のための材料と システム研究拠点」 2022年度 名古屋大 学未来材料・システ ム研究所 共同利用・共同研究 公募	〒464-8601 愛知県名古屋市千種 区不老町 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 研究協力部研究事業課研究事業 係 TEL:052-789-5464 FAX:052-788- 6254 E-Mail:k-kyoten@adm.nagoya- u.ac.jp	環境調和型で持続発展可能な省エネル ギー・創エネルギー技術(エネルギー変換、 蓄エネルギー、エネルギー伝送およびエネ ルギー消費の高度化・超効率化)に関する 共同利用・共同研究課題	研究代表者 次のいずれかに該当する者(本学の教 員を除く。)とします。 ① 国、公、私立大学の教員、研究機関 の研究者、又はこれに準ずる研究者 ② その他研究所長が特に適当と認め た者 研究分担者 次のいずれかに該当する者とします。 ① 国、公、私立大学の教員、研究機関 の研究者、又はこれらに準ずる研究者 ② 技術職員、大学院生 ③ その他研究所長が特に適当と認め た者	上限20万円(100 件程度予定)	採択日~2023年 2月28日
12月20日	2022年3月14日(①) 2022年3月22日 (③)	Web申請	公益財団法人武田科 学振興財団 2022年度研究助成	公益財団法人 武田科学振興財 団 研究助成事務局 TEL 06-6233-6103 URL https://www.takeda-sci.or.jp/	①ハイリスク新興感染症研究助成 人類にとって脅威となりうるハイリスク新興 感染症の対策に必要な基礎研究、臨床研 究、疫学・社会医学的研究等の多様な研究 ②医学系研究助成 医学分野の進歩・発展に貢献する独創的 な研究 ③生命科学研究助成 生命科学分野における新たな発見に貢献 し、当該分野の進歩・発展の基盤となる独 創的な研究 ④ライフサイエンス研究助成 生命科学分野の進歩・発展に貢献し、人類 の健康増進に寄与する独創的な研究	①国内の大学、研究機関、医療機関お よび高等専門学校に所属する研究者 ※大学院生、学生、企業に所属する研 究者を除く ※2022年4月1日現在の年齢が満55歳 未満の方 ②国内の大学医学部および大学の医学 系研究部門またはその他の医学系研究 機関に所属する研究者 ※大学院生、学生、企業に所属する研 究者を除く ※2022年4月1日現在の年齢が満45歳 未満の方 ③国内の大学、研究機関、医療機関お よび高等専門学校に所属する研究者 ※大学院生、学生、企業に所属する研 究者を除く ※2022年4月1日現在の年齢が満55歳 未満の方 ④、国内の医学・歯学・薬学系以外の大 学・学部、研究機関および 高等専門学校に所属する生命科学分野 の研究者 (大学院生、学生、企業に所属する 研究者を除く) ※2022年4月1日現在の年齢が満45歳 未満の方	①1,000万円/件 (10件程度) ②200万円/件 (240件程度) ③1,000万円/件 (30件程度) ④200万円/件(40 件程度)	贈呈決定通知日 から2027年3月 31日まで

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月20日	2022年1月5日～3月31日	メール	一正蒲鉾研究助成金制度	<p>【申請書類提出先】 giken2020@ichimasa.co.jp 問い合わせ先: 〒950-8735 新潟県新潟市東区津島屋七丁目77番地 一正蒲鉾株式会社技術研究部 技術研究課 高田 TEL: 025-270-7119 申請書類書式は下記よりダウンロードをお願いします。 https://ichimasa.box.com/s/xtgwt4abqqlhv9fwws1l9vurstscswi</p>	<p>魚肉たんぱく質の代替技術に関する科学的研究 課題番号1: 培養魚肉に関する研究 課題番号2: たんぱく質の精密発酵に関する研究</p>	<p>(1) 研究機関(公的、民間を問いません)及び大学、高校、工業高等専門学校に在籍する全ての研究者等(ただし、日本語での申請及び報告書の作成、成果発表が可能であることが必要です。) (2) 研究室(研究グループ)での応募も可能です。なお、ひとつの研究機関、ひとつの大学等からの複数の応募は可としますが、ひとつの研究室(研究グループ)からの応募は1件のみとします。 (3) 1度採択された研究者、研究室(研究グループ)は、助成初年度から数えて3年間は助成を受けることはできません。 (4) 応募した内容について、助成が決定した場合は他の民間助成機関から重複して助成を受けることはできません。</p>	年間最大3件(総額1000万円)	2022年6月1日～2023年5月31日(原則1年間)
12月20日	2022年3月31日	メール	令和4年度富山大学研究推進機構水素同位体科学研究センター一般共同研究募集	<p>提出先: 〒930-8555 富山市五福3190番地 富山大学 研究推進機構 水素同位体科学研究センター 矢後 昌美 (E-Mail: mayago@ctg.u-toyama.ac.jp)</p>	<p>【一般共同研究課題】 水素及び水素同位体のエネルギー、環境研究</p>	<p>全国の関連研究者(募集要項をご確認ください)</p>	—	採択後～令和5年3月末
12月1日	2022年1月14日	郵送	健康体力づくり事業財団 令和4年度健康運動指導研究助成	<p>【申請書送付先】 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 指導者支援部 研究助成担当 〒105-0021 東京都港区東新橋2-6-10 大東京ビル7階 https://jsca21.or.jp/1721</p>	<p>(1) 実践研究 運動指導活動における検証、課題解決、人材育成、コロナ禍における新たな指導法等のための研究 (2) 調査研究 我が国の健康・体力づくりに貢献できる、地域・職域における健康・体力づくり推進、コロナ禍における新たな指導のあり方等のための研究 (3) 指定研究 以下の研究課題に該当する研究 ○ 地域における身体活動・運動の推進に関する研究</p>	<p>(1) 実践研究 健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者 (2) 調査研究 健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者 (3) 指定研究 「学校教育法に基づく大学及び同附属試験研究機関」、「国の施設等機関」、「地方公共団体の附属試験研究機関」、「研究を主な事業目的としている公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人及び一般財団法人」、「研究を主な事業目的とする独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条の規定に基づき設立された独立行政法人」に所属する研究者 ※令和3年度に本研究助成金の交付を受けた方は応募できません。</p>	<p>(1) 上限50万円/1研究(15件以内) (2) 上限100万円/1研究(5件以内)/1研究 (3) 上限250万円/1研究(3件以内)</p>	令和4年5月1日から令和5年3月31日

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月1日	2022年1月31日(必着)	郵送	一般財団法人旗影会 2022年度研究助成	一般財団法人旗影会 電話:03-3407-7111 E-mail: kieikai@nakashima- foundation.org	<p><特別助成> タマゴに関する研究(タマゴの新規活用、健康機能、衛生、調理科学、食文化など)</p> <p><一般助成> 以下の分野に関する研究</p> <p>(a)食品工業および調理科学 (b)農産 (c)畜産</p>	<p>・国内の大学・研究機関に所属している個人またはグループ。</p> <p>・原則として、同一内容で国その他の機関から助成を重複して受けていないこと。 (なお、既に他の機関等からの助成を受けている場合は申請時に申告ください。)</p> <p>・一研究者または一研究グループの応募は1件に限ります。</p>	<p>・特別助成 200万円/件(10件程度)</p> <p>・一般助成 100万円/件(40件程度)</p>	2022年4月～ 2023年3月(1年)
12月1日	2022年1月10日	Web申請	第49回 環境賞	国立環境研究所/日刊工業新聞社 問合せ先:環境賞事務局(日刊工業新聞社日刊工業産業研究所) 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL:03(5644)7117 / FAX:03(5644)7294 E-mail: kankyo@nikkan.tech	<p>環境に関する調査、研究、技術・製品開発、活動等で画期的な成果をあげ、または成果が期待されるものであって、環境賞の目的にふさわしいものとする。</p> <p>・低炭素社会の構築に関するもの ・生物多様性をはじめとする自然環境の保全に関するもの ・循環型社会の形成に関するもの ・大気環境、水環境、土壌環境等の保全に関するもの ・化学物質の環境リスクの評価・管理に関するもの ・環境への取り組みによる災害の防止および減災に関するもの ・その他、環境保全や環境の質の向上に関するもの</p>	<p>環境保全や環境の質の向上への貢献が認められる成果、または貢献が期待される成果をあげた個人、法人、団体・グループ等</p>	<p>・環境大臣賞 1点(表彰状、盾)</p> <p>・優秀賞 1～2点(賞状、盾)</p> <p>・優良賞 1～2点(賞状、盾)</p> <p>※審査委員会特別賞を授与する場合もあります。</p>	—
12月1日	2022年1月14日(消印有効)	郵送	公益信託 伊藤徳三 ひまし研究基金 2022年度募集要項	〒105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託グループ 公益信託伊藤徳三ひまし研究基金 申請口 TEL 03-5232-8910(受付:平日9時～17時) FAX 03-5232 申請書: https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list	<p>ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体(リシノール酸、セバシン酸、ウンデシレン酸、2-オクタノール、12-ヒドロキシステアリン酸等)に関する次の研究を対象とします。</p> <p>(1)ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究 (2)ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料及び生物活性物質に関する研究 (3)ひま種子の増産に資する育種及び栽培技術に関する研究 (4)上記(1)～(3)以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究</p>	<p>大学・公的研究機関等の営利を目的としない研究機関に所属し、上記の研究に従事する研究者・研究グループ。特に若手研究者からの応募を期待します。 *なお、過去助成を受けた方でもその後の発展があれば応募可能です。</p>	<p>100万円以内/件 (1～2件採用予定)</p>	—

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月1日	2022年1月25日(必着)	メール	一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 2021年度研究支援(助成)の募集	問い合わせ先: 一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 事務局(担当:高木) 住所 〒104-0031 東京都中央区新富 2-4-5 ニュー新富ビル4階 電話 03-6280-4901 電子メール info@anshinkyo.jp ホームページ https://www.good-net.jp	インターネット社会における、青少年の健全な育成保護、または高齢者の安心安全に係る諸活動に資する実証的な調査および研究とします。 [テーマ例] ・GIGA スクール端末の活用と児童生徒との関わり ・ICT 機器の利活用と青少年の関係について ・ICT 機器の“ながら”使用が青少年の集中力に及ぼす影響と対応策について ・保護者による子どもの ICT 機器使用関与の効果、影響について ・低年齢の子どもによる ICT 機器利用効果、影響について ・スマートフォン利用時間と健康との関わりについて ・高齢者のスマートフォン利用が及ぼす効果、影響について ※上記に限らず、先進的なテーマにつきましても歓迎いたします。	国内を拠点として研究活動を行う大学・大学院等の教育・研究機関ならびに企業・各種団体等の研究者で、特に年齢は問いません。	上限50万円/件(3件予定)	2022年4月1日～12月31日
12月1日	2022年1月31日(当日消印有効)	郵送	公益財団法人G-7奨学財団 令和4年度研究開発助成事業公募	公益財団法人G-7奨学財団 事務局 〒654-0161 兵庫県神戸市須磨区弥栄台5丁目19-2 TEL:078-798-5477 Email: office@g-7foundation.or.jp URL: https://g-7foundation.or.jp	バイオ分野(医療や農業領域を含む)やIT分野を中心に新事業又は新用途の創出につながる研究開発を対象とします。 同テーマで他の助成金等を受けている場合、重複申請することはできません。	国内の大学・研究機関等に所属し、バイオ分野(医療や農業領域を含む)やIT分野を中心に新事業又は新用途の創出につながる研究開発に取り組む個人又はグループを対象とします。 主たる研究者は申請締切日時時点で満50歳未満であることとし、国籍は問いません。 また、助成金の入金先は大学・研究機関等とし、当該機関等において適切に資金管理可能な体制が整備されていることを要件とします。	上限300万円/件(15件程度予定)	令和4年4月～令和5年3月まで(原則1年間)
12月1日	2022年1月31日(必着)	郵送または宅配便	令和4年度CERI公募型研究助成	〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-25 日教販ビル 7階 一般財団法人化学物質評価研究機構 企画部企画課 担当:小野澤 Tel. 03-5804-6132 Fax. 03-5804-6139 ※お問合せは、本機構ホームページ(http://www.cerij.or.jp)の企画部お問合せでも受け付けています。	化学物質の評価・管理技術の発展に資する研究で、次のいずれかに該当するものを助成の対象とします。ただし、他の機関からの委託研究や助成を受けている研究等と重複するものは助成の対象外とします。 ① ゴム、プラスチック等の高分子材料の評価に関する研究 ② 環境分析、モニタリング技術に関する研究 ③ 標準物質の開発、評価技術に関する研究 ④ 化学物質の有害性評価、暴露評価及びリスク評価に関する研究 ⑤ その他、化学物質の評価、管理に関する研究	① 日本国内の大学又は公的研究機関に所属する研究者 ② 募集年の4月1日時点で45歳以下である者	100万円以内/件(採用2件以内)	契約日～翌年3月31日

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月1日	2022年2月28日(必着、財団に申請書を提出する場合)	Web申請	公益財団法人 山田科学振興財団 2022年度研究援助	公益財団法人 山田科学振興財団 〒544-8666 大阪市生野区巽西1丁目8番1号 E-mail: apply@yamadazaidan.jp 電話 大阪(06)6758-3745(代表)	本財団は自然科学の基礎的研究に対して、研究費の援助を致します。実用指向研究は援助の対象としません。申請に際しては、次記を考慮して下さい。 1) 萌芽的・独創的研究 2) 新規研究グループで実施される研究 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究 4) 国際協力研究 ※評価が定着して研究資金が得やすいものより、萌芽的で将来の発展が期待される基礎研究を重視します。 ※多様な視点や発想を取り入れた研究活動を実施し、創造力を発揮する研究者を積極的に支援するため、本財団は、女性の活躍はもちろんのこと、一人一人の多様性を尊重します。	当該研究を独立して実施し得る者でなければなりません。すなわち、当該研究者は研究代表者であることを必要とし、単に研究グループの研究費集めの一端を担う者であってはなりません。 ◎学会推薦制または本財団関係者(個人)推薦制各財団によります ※学会によって締切が異なりますので、各学会にお問い合わせください。 2. 身分、経歴、年齢等は問いません。ただし、日本の研究機関に所属する研究者であることが必要です。	100~500万円/件 (総額4,000万円、18件程度を予定)	採択日~翌年度の3月末
12月1日	2022年2月15日 17時(必着)	郵送	一般財団法人 畜産ニューテック協会 令和4年度研究助成事業の公募	一般財団法人 畜産ニューテック協会 〒108-0075 東京都港区港南2-4-8大島ビル2F 電話: 03-5463-8951 FAX: 03-5463-8952 E-mail: j.miyabe@jnt.jp	①畜産経営における先端的飼養衛生管理に関するもの。 ②肉用牛(黒毛和種、褐毛和種、日本短角種、無角和種、交雑種、乳用種)または豚の生産技術に関するもの。 注:①の飼養衛生管理には、畜舎、飼料給与、疾病予防や獣医関係等広く含む。	①公立試験研究機関(独立行政法人も可) ②学校教育法第一条に規定された大学、高等専門学校、高等学校(畜産に関する学科を設置している場合に限る) ③農業協同組合、農事組合法人、農業生産法人、NPO法人 ④公益・一般社団法人、公益・一般財団法人 複数の団体による共同研究等を行う場合は、全体の責任をもつ代表者が応募主体となる。	80~100万円/件	1年間
12月1日	2022年2月25日(必着)	メール	糧食研究会 2022年度 研究テーマ募集	〒192-0919 東京都八王子市七国一丁目29番1号 一般財団法人糧食研究会 事務局 TEL:042-637-4155 FAX:042-637-3011 E-mail: fsif-office@ryouken.or.jp	研究領域:食品に関連した科学的研究 研究分野:食品機能(一次、二次、三次機能等)、食品評価(おいしさ、物性・食感等)、食品設計・加工技術、食品安全、腸内細菌叢などに関する研究	国内の大学・研究機関に所属し、募集対象とする領域・分野で研究する者となります。 なお、年齢・職位に係る制限はありませんが、若手研究者の積極的な応募を期待します。	150万円/件(12件予定)	記載なし(2023年8月に報告書提出)

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
12月1日	2022年1月15日(必着)	郵送	人物交流派遣・招聘事業	公益財団法人国際文化交流事業財団 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2丁目15-5-207 電話:03-3467-7422 E-mail:info@iicf.or.jp	(1)派遣 学術、文化(文学、芸術、言語等)又は教育に関する活動に携わっている日本国籍(現に国内で活動している者)の学者、研究者、教育者又は芸術家が、海外に渡航して行う活動を助成する事業。 (2)招聘 学術、文化(文学、芸術、言語等)又は教育に関する活動に携わっている外国の学者、研究者、教育者又は芸術家等に、日本国内で活動して貰うための招聘を助成する事業。	◎実施機関による【実施要項】をご確認ください。申請には学長または部局長の印、内定後推薦書が必要です。	派遣・招聘とも1名につき、 東アジア 10万円 西アジア 15万円 ヨーロッパ・アフリカ・南米地域 20万円 北米及びその他の地域 10万円	2022年4月1日～2023年3月31日の間で、原則1ヶ月以内の期間
12月1日	随時(渡航日の2ヶ月前まで)	郵送	遺伝学普及会 研究助成(海外渡航費)令和3年度募集	公益財団法人遺伝学普及会 〒411-8540 静岡県三島市谷田1111 TEL 055-981-6857 FAX 055-981-6877 e-mail:genetics@nig.ac.jp http://www.idengaku-fukyukai.info/	生命科学関連分野における遺伝学に関する基礎的、学際的研究及び関連する諸技術などの研究	次に該当し、日本から海外の国際会議、シンポジウム等に出席し研究発表(ポスター発表を含む。)を予定している方。但し、すでに本助成を受けられた方は応募をご遠慮ください。 ※オンライン開催される国際会議で研究発表を行うための参加費も援助対象とします。 (1) 大学院後期(博士)課程在籍者 (2) 若手研究者(原則として40才未満)	原則10万円以内/件(5名程度)	—
11月17日	2022年1月15日～3月10日(必着)	郵送	公益財団法人タカノ農芸化学研究助成財団 2022年度研究助成対象者募集	公益財団法人 タカノ農芸化学研究助成財団 郵送先: 〒311-3411 茨城県小美玉市野田1542番地 公益財団法人 タカノ農芸化学研究助成財団 理事長 高野 英一 宛 問合せ先:財団事務局 TEL:0299-58-4363 FAX:0299-58-3847 E-mail:tazaidan@takanofoods.co.jp	(A)豆類や穀類の生産技術(栽培、育種、植物栄養、根圏微生物等)に関する研究 (B)豆類や穀類、並びにそれらの加工品の食品機能(栄養機能、嗜好機能、生体調節機能等)に関する研究 (C)豆類や穀類の加工、保蔵、流通技術に関する研究、並びにそれらの発酵に関連する微生物や酵素の探索、特性、利用に関する研究	(1)国内の大学、短大の研究者(大学院生も含む) (2)国立並びに国立研究開発法人等の研究機関の研究者 (3)その他本財団の理事会において適当と認められた研究者	(1)一般部門(年齢制限なし)1件当たり 100万円を7件程度 (2)若手部門(40歳未満)1件当たり 50万円を6件程度 ※若手部門は、1982年(昭和57)4月1日以降生まれの方	2022年5月～2023年4月
11月17日	2022年1月11日必着	郵送	第1回日本糖尿病財団・ノボ ノルディスクファーマ研究助成	公益財団法人 日本糖尿病財団 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-11 柏屋ビル南館 7 階 TEL: 03-3815-2050 FAX: 03-3815-4954 E-Mail: info@j-df.or.jp URL: http://www.j-df.or.jp	糖尿病と心血管疾患や腎症に関する研究。 (ノボノルディスクファーマ株式会社の製品に関する臨床研究は除く。)	・日本国内に在住する研究者であること。 ・所属する施設長の推薦を受けていること。 但し、 ・昨年度、当財団から助成を受けている方、及び本年度の同時募集研究助成の重複応募は不可とする。 ・同一研究室から複数の応募があった場合、いずれも不可とする。	100万円/件(20件程度予定)	2022年4月1日～2023年3月31日(1年)

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)
 ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注:学内締切 ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
11月17日	2022年1月11日必着	郵送	第1回日本糖尿病財団・サノフィ研究助成	公益財団法人日本糖尿病財団 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-11 柏屋ビル南館 7 階 TEL: 03-3815-2050 FAX: 03-3815-4954 E-Mail: info@j-df.or.jp URL: http://www.j-df.or.jp	インスリンまたはインクレチンに関する基礎研究。	・日本国内に在住する研究者であること。 ・所属する施設長の推薦を受けていること。 但し、 ・昨年度、当財団から助成を受けている方、及び本年度の同時募集研究助成の重複応募は不可とする。 ・同一研究室から複数の応募があった場合、いずれも不可とする。	150万円/件(20件程度予定)	2022年4月1日～2023年3月31日(1年)
11月17日	2021年12月15日～2022年1月12日午後5時(厳守)	Web申請	第51回(2022年度)三菱財団人文科学研究助成(一般助成・大型連携研究助成)	公益財団法人三菱財団 事務局 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号(三菱商事ビル21階) E-mail: info@mitsubishi-zaidan.jp Tel. (03)3214-5754	人文学分野、及びそれに関連する分野からなる人文社会系研究全般を対象とします。(申込分野コードとして2018年度の科学研究費の審査区分を使用しています)。なお、応募頂く研究については、倫理、個人情報保護等の法規制や精神を十分に踏まえたものであることの説明が必要です。	イ.原則として、特定のテーマの、個人ないしは小人数のグループまたは法人・団体による研究とします(「大型連携研究助成」の場合は複数の領域の研究者(実践者)のチームとなります)。応募者の国籍等は問いませんが、当該代表研究者が日本の国内に居住し、かつ国内に継続的な研究拠点を有することが必要です。 ロ.営利企業等及びその関係者は、代表研究者、申込法人、団体及び協同研究者になれません。 ハ.代表研究者及び協同研究者は、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者が(他分野も含め)ほかの応募案件の協同研究者を兼務することも出来ません。(協同研究者の方には上記の確認も含め、必ず了承を得ておいて下さい。) なお、複数応募が判明した場合は、失格となる場合があります。	【一般助成】上限500万円/件(25～30件) 【大型連携研究助成】上限1000万円/件(1～2件)	原則1年(事情により2年、「大型連携研究助成」においては案件により3年まで認められることもあります)
11月17日	2021年12月23日～2022年1月20日午後5時(厳守)	Web申請	第53回(2022年度)三菱財団社会福祉事業並びに研究助成	公益財団法人三菱財団 事務局 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号(三菱商事ビル21階) E-mail: info@mitsubishi-zaidan.jp Tel. (03)3214-5754	幅広い分野からの多様な、社会的意義のある、社会福祉事業・研究を支援します。実現可能性が高く、新しいモデルとして発展・普及が期待できるような事業・活動や、チャレンジングで開拓的・実験的な科学的調査研究を期待します。異なる専門領域のメンバーがチームを形成、同一の社会課題に取り組む、連携・協働型案件も支援します。なお、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で困難している人々を支援する事業を行うNPO法人や社会福祉法人等への支援も行います。	イ.日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの(国籍等は不問)。 ロ.営利企業等並びにその関係者は、代表研究者、申込法人・団体、協同研究者、実施担当者・関係スタッフ等になれません。 ハ.代表研究者、協同研究者、申込法人・団体及びその代表者、実施担当者・関係スタッフは、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者や申込法人・団体の代表者が、他の応募案件の協同研究者や実施担当者・関係スタッフを兼務したり、協同研究者、実施担当者・関係スタッフが他の応募案件の協同研究者、実施担当者・関係スタッフを兼務することも出来ません。(協同研究者、実施担当者・関係スタッフの方には上記の確認も含め、必ず了承を得ておいて下さい。) なお、複数応募が判明した場合は、失格となる場合があります。	1000万円以内/件(総額9000万円を予定)	原則1年
11月17日	2022年1月6日～2月3日午後5時(厳守)	Web申請	第53回(2022年度)三菱財団自然科学研究助成(一般助成)	公益財団法人三菱財団 事務局 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号(三菱商事ビル21階) E-mail: info@mitsubishi-zaidan.jp Tel. (03)3214-5754	自然科学のすべての分野にかかわる独創的かつ先駆的研究	【一般助成】 イ.原則として、一つのテーマとして独立した個人研究(ただし小人数によるグループ研究も含む)を対象と致します。完全公募制であり各研究者は自由に応募頂けますが、当該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合(国籍等は不問)に限られます。なお、年齢の条件はなく、40歳未満の方も応募可能です。 ロ.営利企業及びその関係者は、代表研究者及び協同研究者になれません。 ハ.代表研究者及び協同研究者は、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者が(他分野も含め)ほかの応募案件の協同研究者を兼務することも出来ません。(協同研究者の方には上記の確認も含め、必ず了承を得ておいて下さい。) なお、複数応募が判明した場合は、失格となる場合があります。 二.過去に本財団から助成を受けられた方も応募可能です。ただし研究内容が過去に助成を受けられたテーマと同一と判断される場合は、採択を見送ることがあります。	2000万円以内/件(40件程度)	原則1年
11月17日	2022年1月6日～2月3日午後5時(厳守)	Web申請	第53回(2022年度)三菱財団自然科学研究助成(若手助成)	公益財団法人三菱財団 事務局 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番1号(三菱商事ビル21階) E-mail: info@mitsubishi-zaidan.jp Tel. (03)3214-5754	自然科学のすべての分野にかかわる独創的かつ先駆的研究	【一般助成】の応募資格イ.～ニ.に加え、2022年4月1日現在40歳未満の方とします。博士の学位取得者の方については40歳未満かつ学位取得後10年未満の方に限ります。ただし、産前・産後休暇、育児休業の期間があり、その期間を除くことで40歳未満に換算でき、かつ博士の学位取得後10年未満となる方(学意味取得の方を含む)は応募可とします。	400万円/件(一律、15件程度)	原則1年

2021/12 研究助成公募情報

申請書学内提出期限等：(公印が必要なものに限る。その他は教員各位による対応。)

- ①各種財団等の定める**提出期限の2週間前**
 ②年末年始、長期休暇等が含まれる場合は、**休暇を除く提出期限の10業務日前**
 ③詳細はメール添付の「2021年5月25日付『各種財団等の研究助成金』に関する不正使用事案の報告及び今後の手続きについて(通知)」をご確認ください。

HP掲載日	募集期間 (注：学内締切ではありません)	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
11月17日	2022年2月28日	メール	2022年度 第17回 「ロレアル-ユネスコ 女性科学者 日本奨励賞」	「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」事務局 〒100-0005東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル5F 株式会社クレオ内 宛先/お問い合わせ先e-mail: loreal-fwis-japan@kreo.jp	生命科学、物質科学の分野からそれぞれ原則1年2件(2名)、計4件(4名)を選考し、受賞者に賞状および奨学金100万円を贈呈します。	生命科学、物質科学の分野において、博士後期課程に在籍あるいは、博士後期課程に進学予定の40歳未満*の日本国籍を有する女性を対象とします。*下記、応募締切日現在、40歳未満で交付後1年間、国内で教育・研究に従事できる方。 留学生は対象外。	100万円/件(生命科学2件、物質科学2件 計4件)	原則1年
11月4日	2022年1月7日	メールまたは郵送	公益財団法人 水産無脊椎動物研究所 2022年度研究助成課題の募集 (個別研究・育成研究)	公益財団法人 水産無脊椎動物研究所 〒104-0043 東京都中央区湊1-3-14-801 研究助成担当 jyosei@rimi.or.jp https://www.rimi.or.jp/josei/	【個別研究】 水産(水棲)無脊椎動物(昆虫類を除く)の形態・発生・生理・分類・系統・生態・行動などに関するフィールドでの生物学的な調査研究(10件程度)に対して、1課題あたり上限70万円の助成を1年間行います。 【育成研究】 水産(水棲)無脊椎動物(昆虫類を除く)の形態・発生・生理・分類・系統・生態・行動などに関するフィールドでの生物学的な調査研究を行っている大学院生(3件程度)に対して、2年間継続して1年目に上限100万円、2年目に上限100万円の研究費を助成します(2年目への継続にあたり審査あり)。	日本に居住する方であれば、特に年齢や資格の制限はありません。海外に居住し、日本国籍を有する方も対象となります。 【個別研究】 大学や研究所に勤務する研究者等については、若手研究者からの活発な応募を期待します。研究機関等に所属していないため、研究上の便宜の少ない立場の研究者も対象となります。 【育成研究】 採択される年度に国内の大学院課程に在籍する学生で、大学院研究科の指導教員、またはこれに準ずる方の推薦を受けられる方。	【個別研究】 1課題につき上限70万円 【育成研究】 1年目に上限100万円、2年目に上限100万円	2022年 4月 1日 ～2024年 3月31日
10月20日	2022年1月4日必着	郵送	公益財団法人 江頭ホスピタリティ事業振興財団 令和4年度研究開発等助成事業	公益財団法人 江頭ホスピタリティ事業振興財団 〒812-0893 福岡県福岡市博多区那珂3-28-5 ロイヤル本社3F Tel: (092) 471-2466 Fax: (092) 471-6566 e-mail: e-zaidan@h4.dion.ne.jp	外食産業やホテル産業、観光産業、医療・福祉産業等における「ホスピタリティ事業」の発展に寄与する研究内容であるもの。 研究の内容が明確で、思いやりの心を醸成し、食文化向上や観光を通じた地域振興に寄与するなど、国民の健康や心豊かな生活に寄与し、その成果が社会に還元出来るものが期待できるもの。	申請者の資格は特に設けていません。 但し大学、公立研究所等の、広く公に認知されている機関の正規の職員であることが望ましい。	理事会により決定	※予算の執行は会計年度内(3月21日から翌年3月20日)
9月22日	2022年1月31日(消印有効)	メールまたは郵送	第15回マンダム動物実験代替法国際研究助成金	日本動物実験代替法学会 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバン4階 一般社団法人 学会支援機構内 日本動物実験代替法学会事務局 (事務担当:柴田) TEL 03-5981-6011 FAX 03-5981-6012 MAIL:jsaae@asas-mail.jp	動物実験代替法に関する研究 1.化粧品分野に関する研究 2.その他の分野に関する研究 3Rs (Replacement, Reduction, Refinement)の考えに沿っていること。特にReplacementに着目した研究テーマであることが望ましい(助成金にて動物実験を一切行わない)。化粧品分野に関する研究およびその他の分野に関する研究の分野ごとに審査する。	国公立私立大学、国立または非営利事業財団等の研究機関において、左記の研究内容に従事する研究者で、アジアを中心とした全世界の国公立私立大学および国立または非営利事業財団等の研究機関において、以下に記す研究内容に従事する研究者。当会会員でなくとも応募は可能。 なお、採択された場合は、入会が助成の条件となる(外国籍者はこの限りではない)。	50～200万円/件 (総額300万円)	2022/4/1～ 2023/3/31の1年間